

事業レポート

2012年11月30日

第3セクター研究学会・千葉商科大学経済研究所共催公開シンポジウム

市民と考える地方自治・財政問題

報告者

千葉商科大学商経学部専任講師

齋藤 香里
SAITO Kaori

2012年11月30日(金)、千葉商科大学 2号館 233教室において、第3セクター研究学会と千葉商科大学経済研究所の共催で「市民と考える地方自治・財政問題」と題する公開シンポジウムが開催された。本シンポジウムの実行委員長は齋藤香里が務めた。報告者とテーマは次の通りである。

司会

- ◆中村 實 (元 東北文化学園大学総合政策学部教授・元 千葉商科大学非常勤講師・第3セクター研究学会理事)

報告者

- ◆出井 信夫 (東北公益文科大学大学院教授・第3セクター研究学会会長)
「公民連携・PPPの現状と課題
—自治体出資法人・第3セクターを中心に—」
- ◆藤田 正一 (青森中央学院大学大学院教授・第3セクター研究学会理事)
「地方公企業の現状と課題」
- ◆齋藤 香里 (千葉商科大学商経学部専任講師・第3セクター研究学会理事)
「市民による公共サービス提案制度の現状と課題
—さいたま市等の事例—」
- ◆大塚 大輔 (総務省自治財政局公営企業課理事官)
「自治体出資法人の現状と課題
—第3セクター等の改革について—」

本学からは上山俊幸(千葉商科大学教授・千葉商科大学経済研究所長)が開会の辞を述べ、齋藤香里が報告した。

司会の中村實(元 東北文化学園大学総合政策学部教授・元 千葉商科大学非常勤講師・第3セクター研究学会理事)が務め、山本潔(山本潔法律事務所弁護士・第3セクター研究学会理事)が閉会の挨拶をした。

本シンポジウムの開催については、総務省、共同通信社、新潟日報社、山形新聞・山形放送、千葉日報社、全国公益法人協会、東北公益文科大学、千葉商科大学の後援を得た。参加者は31名であった。本シンポジウムでは報告集を配布した。

第一部では出井信夫氏と藤田正一氏、第二部では齋藤香里と大塚大輔氏が報告をした。

出井信夫氏は、公民連携・PPPの現状と課題について、自治体出資法人・第3セクターを中心に報告をした。第一に欧米諸国の第3セクターとわが国の第3セクターの相違について、第二に第3セクターの概念とその他のセクターの概念について、第3セクター、第4セクター、第5セクターそしてジョイントセクターについて概念を整理した。第三に自治体出資法人の現況について明らかにした。第四に自

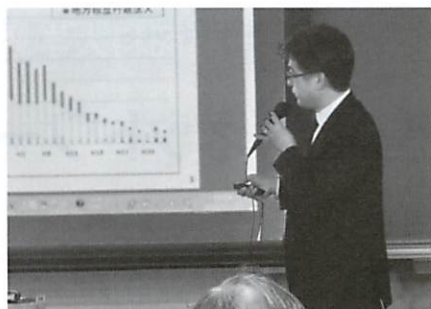




出井 信夫氏



藤田 正一氏



大塚 大輔氏

自治体出資法人の課題について、特に指定管理者制度・公益法人改革等に関して指摘した。第五に自治体出資法人と公民連携PPP・協働について論及した。最後に市民力の活用について語った。

藤田正一氏は、地方公企業(公社等法人)の現状と課題について報告を行った。地方公企業に共通的な問題点を明らかにし、地方公企業が取り組むべき共通的经营改革事項を指摘した。地方公企業の经营活动が地方公共団体の財政に過大な負担を招くことなく、かつ、自らの经营目的としての公益性を効率的・効果的、かつ、公正・確実に達成していくための地方公企業の经营改革の遂行に際しては、まず、自己经营評価と经营分析を駆使して遂行していくべきであると言及した。次に、地方公企業が自らの经营活动における諸問題を把握し、それらの問題を解決していくためには、地方公企業統廃合・民営化等の具体的な諸施策の実施をとおして、地方公企業の经营改革が円滑に遂行されていくべきであると主張した。

齋藤香里は、市民による公共サービス提案制度の現状と課題について報告した。はじめに提案型公共サービス制度をスタートさせた我孫子市の提案型公共

サービス民営化制度について、同制度とその問題点そして改革について検討を行った。次に2012年からさいたま市で導入された提案型公共サービス公民連携制度について、同制度と現状について論じた。

大塚大輔氏は、自治体出資法人の現状と課題について第3セクター等の改革をテーマに報告した。第一に、第三セクター等の現状と損失補償等の取扱いについて解説した。第二に、地方公共団体財政健全化法と第三セクター等の改革について説明した。第三に、第三セクター等の改革に係る課題と財政的リスクの認識について揭示した。第四に、第三セクター等の抜本的改革を行った実例を紹介した。

4氏の基調報告の後、フロアから質問を受け付け、それに対して応答が行われ、活発に論議された。

本シンポジウムの開催は、NHK総合テレビの番組「こんにちは いっと 6 けん」(2012年11月26日放送)で紹介された。NHKの番組で注目されたことからわかるように、本シンポジウムに対する社会からの関心は高く、地方自治や地方自治体の改革に関するシンポジウムが市民対象に催されたことは非常に意義深いといえよう。



中村 寛氏



山本 潔氏